

見直しの方針

- 増加する高齢者・障害者等の移動要配慮者が自らの意思に基づき自立して、安全かつ円滑な移動を行えるよう最大限の環境整備を目指す
- 東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、東京大会に向けた重点的なバリアフリー化にとどまらず、全国のバリアフリー水準の底上げを目指す



考慮

○見直しにあたっては、実現可能性等も考慮

検討事項

1. 移動要配慮者のさらなる安全・円滑な移動の確保のため、検討が必要と考えられる事項
2. 移動要配慮者の自らの意思に基づく自立した移動の実現に向け、検討が必要と考えられる事項
3. 移動要配慮者等関係者からの要望を踏まえ、検討が必要と考えられる事項
4. 東京2020アクセシビリティ・ガイドラインと移動等円滑化基準・バリアフリー整備ガイドラインの規定に差異がある事項
5. その他、環境の変化や現状を踏まえ、検討が必要と考えられる事項